

# 第28回研究発表会を開催します

保健環境科学研究所及び原子力環境センターで行っている調査研究の内容を紹介します。

日時：平成26年2月7日(金) 13時30分～16時00分

場所：島根県民会館 大会議室(3階)

入場は無料ですので、どうぞお気軽にご来場ください



## 発表演題



### 島根県における「がん」の罹患と検診受診を考える

(島根県保健環境科学研究所 総務企画情報課 岩谷直子)

島根県がん対策推進計画では、目標の一つにがんによる死亡者を減らすことを掲げ、関係機関と共にごん予防の推進等に取り組んでいます。このたび、がん予防対策の評価等に必要ながん罹患や検診データ等を分析しましたので、その状況を報告します。

### 県内で分離された腸管出血性大腸菌O157のDNA解析

(島根県保健環境科学研究所 細菌科 榎本孝史)

複数の腸管出血性大腸菌感染症が発生した場合、それぞれで分離された菌のDNA解析をすることで同じ菌が原因であったかどうか推定することができます。今回、県内で分離された腸管出血性大腸菌O157についてIS-printing法とパルスフィールドゲル電気泳動法という2つのDNA解析法の比較と平成24年度に分離された腸管出血性大腸菌O157のIS-printing法による解析結果について報告します。

### エンテロウイルスを原因とした感染症の流行

(島根県保健環境科学研究所 ウイルス科 木内郁代)

エンテロウイルスには様々な種類があります。手足口病、夏風邪のヘルパンギーナ、無菌性髄膜炎などの原因となり、同じウイルスでも多彩な症状を引き起こすことがあります。2013年に流行した感染症からその特徴を考察します。

### PM2.5の常時監視

(島根県保健環境科学研究所 大気環境科 小林優太)

昨シーズンのPM2.5高濃度現象を皮切りに、PM2.5に関する社会的関心が高まっています。島根県では質量濃度(9地点)に加え、秋から成分濃度(2地点)の監視を開始しました。今回は、島根県におけるPM2.5常時監視の概要と質量濃度の状況について紹介します。

### 顕微鏡観察と色素分析を併用した宍道湖の植物プランクトンの優占状況調査

(島根県保健環境科学研究所 水環境科 小山維尊)

宍道湖の植物プランクトンを定量的に評価することは、水質の評価や水産資源への影響を考える上で有益な情報となります。今回、従来行っている顕微鏡観察に加え色素分析を併用することで植物プランクトンの優占状況を比較しましたのでその結果を報告します。

### 島根原子力発電所周辺における冬季雷雲からの放射線

(島根県原子力環境センター 生田美抄夫)

山陰地方では初冬に「雪起こし」と呼ばれる雷が鳴りますが、地球上でもめったに見られない現象です。また、近年この冬季雷雲から発生する放射線が観測されており、いままでの常識では考えられなかった事実が明らかになっています。今回、島根原子力発電所周辺で冬季雷雲からの放射線の特徴を解析しましたので、その結果を報告します。

#### ■問合せ先

島根県保健環境科学研究所(松江市西浜佐陀町582-1)

Tel : 0852-36-8181 Fax : 0852-36-8171

E-mail : hokanken@pref.shimane.lg.jp

